2章

基本編

電話・コピー・ファクス機能の基本的な
使い方について説明します。

電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

親機で電話をかける

1 **受話器を取る**

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
受話器を戻す

途中でやめるとき

受話器を戻す

● スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（2-8ページ）

● まちがい電話を防ぐために「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

● ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

■ **電話がかけられないときは（5-6ページ）**

■ **通話中や保留中に、突然ファクス受信に切り替わるときは（2-4ページ）**

■ **通話やファクスが終わったあとに、ディスプレイに数秒間"J-web"の紹介を表示します。（4-22ページ）**

子機で電話をかけるときの操作です。

子機で電話をかける

1 充電器から取って
(通話)**を押す**

電話番号？

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●通話ボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

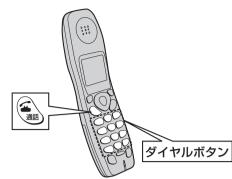
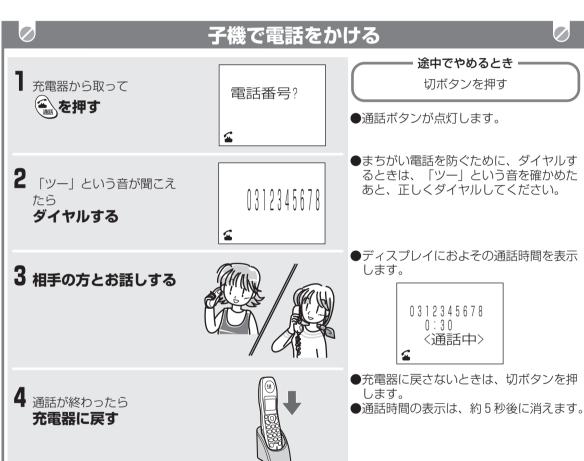
●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0312345678
0：30
<通話中>

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
●通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは（5-18ページ）**

■ **番号を確かめてから電話をかけるときは**
① 通話ボタンを消灯させた状態でダイヤルする（ディスプレイで番号を確かめる）
② 通話ボタンを押す
③ 相手の方とお話しする
④ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押す）

お知らせ
● ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。

電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。

親機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 **相手の方とお話しする**

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **呼出音の大きさを変えるときは**（1-28ページ）

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

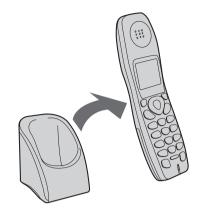
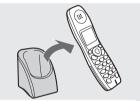
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。

ひんぱんに起こるときは、おまかせ受信（6-6ページ）を「なし」にします。

（ファクス受信時、親機で通話中のときはFAXスタート/決定ボタンを、子機で通話中のときは機能ボタンを押します。）

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（4-92～4-93ページ）

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。

子機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約 5 秒後に消えます。

■ 呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは
呼出音が鳴っているときに切ボタンを押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときはもとの設定している呼出音が鳴ります。

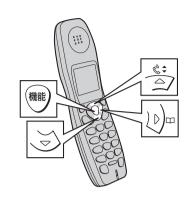
■ 呼出音の大きさを変えるときは（1-29ページ）

■ 通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは（2-4ページ）

お知らせ

- 子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話）（3-54ページ）
- 子機や充電器を設置するときは、親機（ファクシミリ本体）やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（4-92～4-93ページ）
- 親機でプリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、子機だけに呼出音が鳴ります。

優先呼出を設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▽ **で「優先呼出」を選んだあと、** ▷ **を押す**

優先呼出
設定しました
優先呼出

途中でやめるとき
切ボタンを押す

● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。

■ 優先呼出を解除するときは

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順１～２の操作をします。

「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。

優先呼出
解除しました

→

子機1
15:00

優先呼出の表示が消えます

お知らせ

● 他の電話機と並列に接続しているとき、並列接続されている電話機の呼出音は、電話がかかってくると鳴ります。
● 設定後、９時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
● 優先呼出を設定できる子機は、１台のみです。
子機を増設しているときで、すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」と鳴って、優先呼出を設定することはできません。
● 「在宅時コール回数」を１～25回に設定している場合、設定した回数の呼出音が鳴っても電話に出なかったときは、ファクスが自動的に応答してメッセージが流れます。（呼出音の回数は１～25回または無制限呼び出しに変更できます。2-70ページ）
● 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると 優先呼出 の表示は消えますが、優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、もう一度設定しなおしてください。
● 優先呼出を設定中でも、親機がプリント中のときは子機の呼出音は鳴らず、代わりに親機の呼出音が鳴ります。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディー
を流します。
（曲名：「メヌエット（アルルの女）」）

親機で通話中にお待たせする

1 通話中に
内線 ○ 保留 **を押して、受話器を戻す**

30″
保留中
画　質　記録紙

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは
受話器を取る

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●受話器を戻さなかったときは、もう一度、保留ボタンを押すと、再び通話できます。
●保留中にスピーカーホンボタンを押しても、スピーカーホン通話に戻ることはできません。

子機で通話中にお待たせする

1 通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

0:30
<保留>

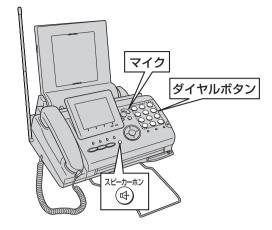
●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは
通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送　2-35ページ）

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

親機の受話器や子機を持たずに、相手の方とお話しができます。
（スピーカーホン通話）

受話器を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン **を押す**

スピーカーホン ダイヤル
画質　記録紙　登録/機能

途中でやめるとき
スピーカーホンボタンを押す

- 天気予報などを聞くときは、「ピッ」と鳴るまでスピーカーホンボタンを（2秒以上）押し続けます。受話専用になり音声が聞き取りやすくなります。（受話専用のときはこちらの声は相手の方には聞こえません。）
- まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

- マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。
- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら
スピーカーホン **を押す**

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（「親機のスピーカー音量を変える」1-28ページ）**

■ **電話がかけられないときは（5-6ページ）**

お知らせ

- 受話器で通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えることができます。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器を取ってお話しください。
- スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手の方からの電話がつながったときは、こちらの声が相手の方に聞こえないときがあります。
こんなときは、受話器を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン **を押す**

電話番号？

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

●マイクから約50cm～2mの範囲内でお話しください。
●通話中は電話番号と通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら
を押す

●電話番号と通話時間（目安）は約５秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは（5-18ページ）**

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（「子機のスピーカー音量を変える」1-29ページ）**

■ **電話番号を確認して電話をかけるときは**
① ダイヤルする(番号を確かめる）
② スピーカーホンボタンを押す（相手が出たらお話しします。）
③ 通話が終わったら、切ボタンを押す

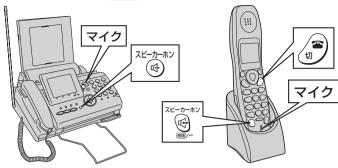
お知らせ

● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えられます。（このあと、充電器に置くと、通話が切れます。）
● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないときがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）

親機の受話器や子機を持たずに、電話を受けて、相手の方とお話しすることができます。（スピーカーホン通話）

受話器を置いたまま電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら スピーカーホン **を押す**

着信通話

2 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。
●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら スピーカーホン **を押す**

子機を置いたまま電話を受ける

1 電話がかかってきたら スピーカーホン

を押す

●ダイヤルボタンが約5秒間点灯します。
●通話中は通話時間（目安）を表示します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 マイクに向かってお話しする

●マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら 切 **を押す**

●通話時間（目安）の表示は、約5秒後に消えます。

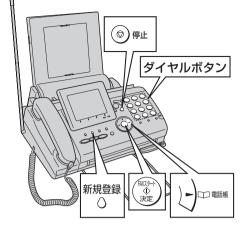
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（1-28〜1-29ページ）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは（1-28〜1-29ページ）**

お知らせ

● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器または子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
● 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（このあと、充電器に置くと、通話が切れます。）

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくと、マルチファンクションキーで、相手の方を選んで電話をかけることができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。１人につき２つの番号を登録できますので、自宅の番号と携帯電話の番号などを両方登録したいときなどに便利です。
また、メール宛先（電子メールアドレス）もあわせて登録することができます。

親機の電話帳に登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳 **を押したあと、**

新規登録 **を押す**

```
<   名前   >          [漢]

>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替                 取 消
```

2 名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）（1-39〜1-43ページ）

```
<   名前   >          [漢]
池田　悟

>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替                 取 消
```

3 FAXスタート/決定 **を押す**

```
<   読み   >       半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ

>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替                 取 消
```

4 「読み」が正しければ FAXスタート/決定 **を押す**

```
< 第1番号 >
NO. =

相手番号を入力してください
                         取 消
```

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき

戻るボタンまたは取消ボタンを押す

●次の操作手順でも登録できます。
①登録/機能ボタンを押す
②▲または▼で「電子電話帳」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③▲または▼で「登録」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
④手順2から11の操作をする

●名前の入力を省略するときは、手順1のあとFAXスタート/決定ボタンを押して手順５に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。（20ケタまで）

●「読み」に変更があれば修正します。（1-39〜1-43ページ）
●「読み」の入力は半角文字で最大20文字まで入力できます。
●名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

次ページへ→

→つづき

5 電話番号（第１番号）を入れる（最大32ケタ）

< 第1番号 >
NO.=0312345678
最後に［決定］で決定します
取消

●メールアドレスを登録する場合は、第1番号の入力は省略できます。
省略するときはこの手順をとばして手順6に進んでください。
（メールアドレスを入れない場合、第1番号の入力は省略できません。）
●番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押すと、１つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。

6 FAXスタート/決定 を押す

< 第2番号 >
NO.=
相手番号を入力してください
取消

7 電話番号（第２番号）を入れる

< 第2番号 >
NO.=09012345678
最後に［決定］で決定します
取消

●第２番号の入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順８に進んでください。

8 FAXスタート/決定 を押す

< メールアドレス > 半［英］
>
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
文字切替 登録文字入力 取消

9 メールアドレスを入れる（最大半角50文字）

< メールアドレス > 半［英］
ikeda@sharp.co.jp
>
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
文字切替 登録文字入力 取消

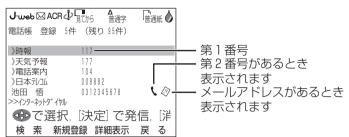
●第1番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。
（第1番号を登録していない場合、メールアドレスの入力は省略できません。）
●次の定型句が入力できます。
.co.jp、.ne.jp、.ac.jp、.com、@dem.odn.ne.jp、@pipopa.ne.jp、www.
入力するときは、登録文字入力ボタンを押してから、▲または▼で定型句を選び、FAXスタート/決定ボタンを押します。

10 FAXスタート/決定 を押す

登録しました

●続けて登録するときは、新規登録ボタンを押したあと、手順２～10をくり返し行ってください。

11 停止を押す

■ **電話帳リスト画面の見かた**

■ **親機の電話帳の内容を１人ずつ消すときは**

① 電話帳ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい相手の方を選んだあと、キャッチ/消去 を押す

③ もう一度、キャッチ/消去 を押す

④ 停止ボタンを押す

■ **親機の電話帳の内容をすべて消すときは**

① 待機画面で キャッチ/消去 を押す

② ▲ または ▼ で「電話帳 全消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

③ もう一度、FAXスタート/決定ボタンを押す

■ **登録した内容を確認するときは**

① 電話帳ボタンを押す

② ▲ または ▼ で確認したい相手の方を選んだあと、詳細表示ボタンを押す

③ 確認後、停止ボタンを押す

■ **親機の電話帳の内容をプリントするときは**

① 電話帳ボタンを押す

② コピー／印刷ボタンを押す

■ **親機で登録した電話帳の内容を子機にも登録するときは（2-26ページ）**

■ **ポーズについて**

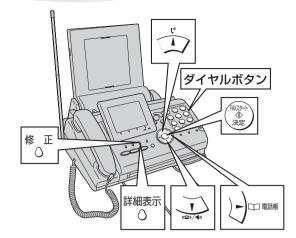
１回目に （再ダイヤル）ボタンを押すと、約４秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、２回目以降からは約３秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

お知らせ

- 親機の電話帳には、あらかじめ４件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは96人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177
≫電話案内	104
≫日本テレコム	008882

  なお、スーパーACR2ご契約時に利用できるサービスで「>>インターネットダイヤル」も電話帳に表示されますが、これは100人には含まれません。（消すこともできません）
- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストの詳細表示をして、確かめてください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（4-92〜4-93ページ）や着信鳴り分けをさせるとき（4-104〜4-107ページ）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「0033」「0088」「0077」「001」「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時に 、登録した相手の方の名前表示（4-92〜4-93ページ）や着信鳴り分け（4-104〜4-107ページ）が働かなくなります。

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

親機に登録した名前や番号を修正する

1 電話帳 **を押す**

2 　または　　で **修正する相手の方を選ぶ**

3 詳細表示 **を押す**

電話帳1件表示
名前：池田　悟
読み：イケダ　サトシ
番号①：0312345678
番号②：09012345678
E-Mail：ikeda@sharp.co.jp

4 修正 **を押す**

く　名前　＞　[漢]
池田　悟
＞
[ダイヤル] で文字入力，[取消] で
文字切替　取　消

5 **名前を入れ直す（1-39～1-43ページ）**

く　名前　＞　半 [漢]
池田　さとし
＞
[ダイヤル] で文字入力，[取消] で
文字切替　取　消

●名前を修正しないときは手順 6 に進みます。

6 FAXスタート 決定 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

次ページへ→

→つづき

7 「読み」を入れ直す（1-39～1-43ページ）

●「読み」を修正しないときは手順 8 に進みます。

8 **を押す**

< 第1番号 >
NO.=0312345678
最後に [決定] で決定します
取 消

9 電話番号を入れ直す

< 第1番号 >
NO.=0387654321
最後に [決定] で決定します
取 消

●取消ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●第 1 番号を修正しないときは手順10に進みます。

10 FAXスタート/決定 を押す

< 第2番号 >
NO.=09012345678
最後に [決定] で決定します
取 消

11 電話番号（第 2 番号）を入れ直す

< 第2番号 >
NO.=09087654321
最後に [決定] で決定します
取 消

●第 2 番号を修正しないときは手順12に進みます。

12 FAXスタート/決定 を押す

< ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ >　半 [英]
ikeda@sharp.co.jp
>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替　登録文字入力　取 消

13 メールアドレスを入れ直す

< ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ >　半 [英]
ikeda-s@sharp.co.jp
>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替　登録文字入力　取 消

●メールアドレスを修正しないときは手順14に進みます。

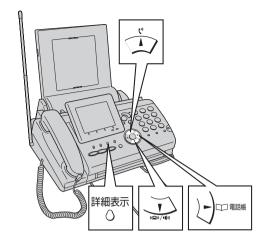
14 FAXスタート/決定 を押す

登録しました

15 停止 を押す

●待機画面に戻ります。

親機の電話帳ダイヤルで電話をかける

電話帳に登録すると、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに次の順に自動的に並べ換えられています。
記号順→数字（0→9）→英字（A→Z）→50音

親機の電話帳で電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳 **を押してから、**
または で
相手の方を選ぶ

途中でやめるとき

相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
通話中は受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときはスピーカーホンボタンを押します。

●ディスプレイで相手の方を確かめます。
●第1番号に電話をかけるときは、手順1のあと、受話器を取ってかけることもできます。（受話器を置いたまま第1番号に電話をかけるときは、手順1のあとスピーカーホンボタンを押します。）

2 詳細表示 **を押してから、**
または で
電話番号（第1番号または第2番号）を選ぶ

3 受話器を取る

池田　悟

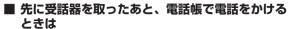
画　質　　記録紙　登録/機能

●受話器を置いたまま電話をかけるときは、手順2のあとスピーカーボタンを押し、手順4に進みます。
●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら
受話器を戻す

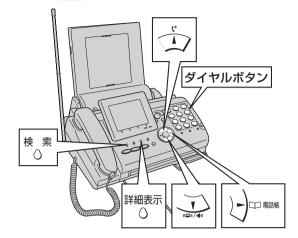
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

■ **先に受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは**

① 受話器を取る（受話器を置いたまま電話をかけるときは、スピーカーホンボタンを押す）
② 電話帳ボタンを押したあと、▲ または ▼ で相手の方を選ぶ（第1番号に電話をかけるときは、このあとFAXスタート/決定ボタンを押してかけることもできます。）
③ 詳細表示ボタンを押してから、▲ または ▼ で電話番号（第１番号または第２番号）を選んだあと、FAXスタート/決定ボタンを押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押す）

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは**

「受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは」の手順①のあとに、「184」や「186」などをダイヤルして、手順②～⑤の操作を行います。

親機の電話帳ダイヤルで電話をかける

名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

親機の電話帳から名前を探して電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳 **を押す**

途中でやめるとき

相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
通話中は受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときはスピーカーホンボタンを押します。

2 検索 **を押す**

●読みが50音で始まるときは、手順 2 をとばして手順 3 に進むことができます。

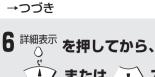
3 **ダイヤルボタンで名前の「読み」を入力する（1-39〜1-43ページ）**

●入力した文字から近い名前の相手の方を表示します。
●「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

4 **を押す**

5 **候補が複数あるときは、**
または　で
相手の方を選ぶ

次ページへ→

→つづき

6 詳細表示 **を押してから、**
または　　で
電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ

電話帳1件表示
名前：池田　悟
読み：ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
番号①：0312345678
番号②：09012345678
E-Mail：ikeda@sharp.co.jp
で選択，[決定]で発信，新
修　正　戻　る

●第１番号に電話をかけるときは、手順５のあと、受話器を取ってかけることもできます。（受話器を置いたまま第１番号に電話をかけるときは、手順５のあとスピーカーホンボタンを押します。）

7 受話器を取る

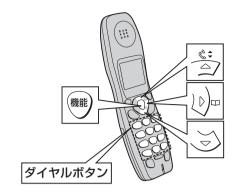
●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

8 相手の方とお話しする

9 通話が終わったら
受話器を戻す

●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

子機の電話帳に登録する

子機１台につき最大100人分の番号を登録できます。
また、１人につき２つの番号を登録できます。

子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 ▷ を押す

▶電話帳検索
電話帳登録
◀終了　選択▶

2 △ または ▽ で「電話帳登録」を選んだあと、▷ を押す

名前?　[漢]
[機能] 決定

3 名前を入れる（最大全角６文字/半角12文字）（1-39〜1-40, 1-44〜1-46ページ）

名前　[漢]
池田　悟
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順６に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。（12ケタまで）

4 機能 を押す

読み　半 [カナ]
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
[機能] 決定

5 「読み」が正しければ 機能 を押す

池田　悟
第1番号?

●「読み」に変更があれば修正します。（1-39〜1-40，1-44〜1-46ページ）
●「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。

6 電話番号（第１番号）を入れる（最大16ケタ）

池田　悟
0312345678
[機能] 決定

●第１番号の入力は省略できません。
●番号を入れまちがえたときはクリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。
●クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

次ページへ→

→つづき

7 （機能）**を押す**

池田 悟
第2番号?
[機能] 決定

8 電話番号（第 2 番号）を入れる（最大16ケタ）

池田 悟
09012345678
[機能] 決定

●第 2 番号を省略するときは手順 9 へ進みます。

9 （機能）**を押す**

池田 悟
登録しました
残り： 95

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。
●続けて登録するときは手順 1 ～ 9 をくり返し行ってください。

■ 子機の電話帳の内容を消すときは

① (▲) または (▼) で相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す

② (▲) または (▼) で「消去」を選んだあと、機能ボタンを 2 回押す
「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ 子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（2-27ページ）

■ ポーズについて

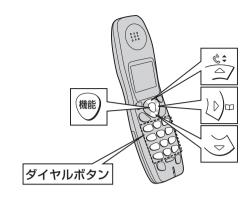
（再ダイヤル）ボタンを押すと、約 3 秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から 0 発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

お知らせ

● 子機の電話帳にはあらかじめ、3 件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報 117
≫天気予報 177
≫104番号案内 104

なお、スーパーACR2ご利用時に利用できるサービスで、「【インターネット】」も電話帳に表示されますが、これは100人には含まれません。（消すこともできません）
● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるときや着信鳴り分けさせるとき（4-104～4-107ページ）は、電話帳に番号を登録するときに、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
● 市外局番の前に「0033」「0088」「0077」「001」「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時に、子機で相手の方の名前表示や着信鳴り分け（4-104～4-107ページ）が働かなくなります。

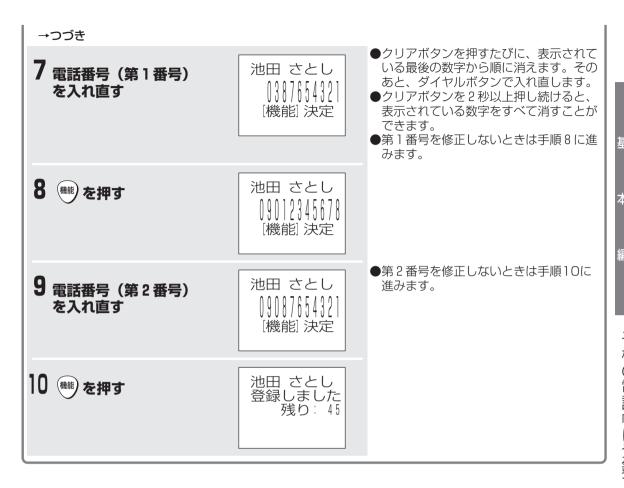
登録した電話帳の番号を修正することができます。

子機に登録した名前や番号を修正する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

手順	画面表示	補足
1 （上）または（下）で相手の方を選んだあと、（機能）を押す	▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ 電話帳変更 消去 ◀戻る　選択▶	
2 （上）または（下）で「電話帳変更」を選んだあと、（▷📖）を押す	名前　[漢] 池田 悟 [機能] 決定	
3 名前を入れ直す（1-39～1-40，1-44～1-46ページ）	名前　[漢] 池田 さとし [機能] 決定	●名前を修正しないときは手順 4 に進みます。
4 （機能）を押す	読み　半 [ｶﾅ] ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼｻﾄｼ [機能] 決定	
5 「読み」を入れ直す	読み　半 [ｶﾅ] ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ [機能] 決定	●読みを修正しないときは手順 6 に進みます。
6 （機能）を押す	池田 さとし 0312345678 [機能] 決定	

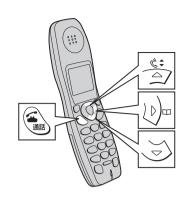
次ページへ→

→つづき

- クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- クリアボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。
- 第１番号を修正しないときは手順８に進みます。
- 第２番号を修正しないときは手順10に進みます。

お知らせ

- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号（第１番号）が名前として登録されています。

子機の電話帳ダイヤルで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに次の順に自動的に並べ換えられています。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

子機の電話帳で電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 △ または ▽ で
相手の方を選ぶ

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了　　第2▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

- ▼ を押すと最初の方を表示します。
- ▲ を押すと最後の方を表示します。

2 ▷ で電話番号（第1番号または第2番号）を選んだあと、通話 を押す

池田 悟
09012345678

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。
- ダイヤルを始めます。

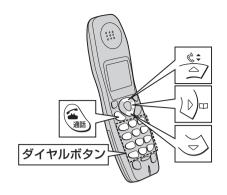
3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは（特番ダイヤル）**

① ▲ または ▼ で相手の方を選ぶ
② ▶ で電話番号（第1番号または第2番号）を選んだあと、機能ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「特番ダイヤル」を選んだあと、▶ を押す
④ 「184」や「186」などをダイヤルする
⑤ 通話ボタンを押す（子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。）
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押します。）

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 □を 2 回押す

読み？ 半［カナ］
◆：検索

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する
（例）「い」で探す：
7を 2 回押す

読み 半［カナ］
イ
◆：検索

3 □ または □ で相手の方を選ぶ

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了 第2▶

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。
●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

4 □で電話番号（第 1 番号または第 2 番号）を選んだあと、通話を押す

池田 悟
09012345678

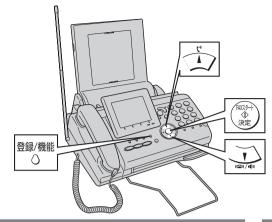
●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする

6 通話が終わったら **充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

電話帳に登録した内容を転送する

親機で登録した電話帳を、子機に転送することができます。
転送すると親機の電話帳の内容が子機に追加されます。

親機の電話帳の内容を転送する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ または ▼ **で「電子電話帳」を選び** FAXスタート/決定 **を押す**

3 ▲ または ▼ **で「子機転送」を選び** FAXスタート/決定 **を押す**

4 転送のしかたを選ぶ

電話帳の内容をすべて転送するとき

▲ または ▼ で「全件転送」を選び、FAXスタート/決定 を押す

1 子機1へ転送
2 子機2へ転送
3 子機3へ転送
4 子機4へ転送
で選択, [決定] で決定
記録紙　戻 る

電話帳の内容を１件ずつ転送するとき

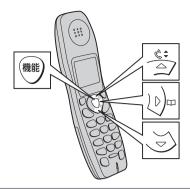
① ▲ または ▼ で「１件毎転送」を選び、FAXスタート/決定 押す
② ▲ または ▼ で転送したい相手の方を選び、FAXスタート/決定 を押す

5 ▲ または ▼ **で転送先の子機を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

●転送が始まります。
●子機2～4は子機を増設していると選ぶことができます。
●第1番号か第2番号のどちらかを、17ケタ以上の番号で登録している相手の方は転送できません。

■ **全角７文字（半角13文字）以上の名前で登録している相手の方を子機に転送するときは**
全角６文字（半角12文字）分までが転送されます。

■ **「転送できないデータ　があります　操作を続けますか？　[決定]で転送します」と表示したときは**
17ケタ以上の電話番号で登録している相手先があるときは、ディスプレイに「転送できないデータ　があります　操作を続けますか？　[決定]で転送します」と表示します。このあと、FAXスタート/決定ボタンを押すとその相手先以外を転送します。

子機で登録した電話帳を、親機に転送することができます。
転送すると子機の電話帳の内容が親機に追加されます。

子機の電話帳の内容をすべて転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 △ **または** ▽ **で「電話帳転送」を選んだあと、** ▷ **を押す**

転送する？
[機能] 決定

3 機能 **を押す**

電話帳転送
完了しました

- 通話ボタンが点滅します。
- 「ピー」と鳴ったあと、左の表示が約30秒間表示されます。（切ボタンを押すと消えます。）

途中でやめるとき
切ボタンを押す

■ **子機の電話帳の内容を1件ずつ転送するときは**
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。
① ▲ または ▼ で転送したい相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「電話帳転送」を選んだあと、▶ を押す
③ 機能ボタンを押す

お知らせ

- 親機・子機とも工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号を転送することはできません。
- 親機・子機で同じ名前、同じ電話番号で登録している相手の方は転送されません。
- メールサービスの宛先（メールアドレス）は転送されません。

親機→子機に転送するとき

- 転送する件数と子機に登録できる件数を確認して子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 転送しても子機に登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機→親機に転送するとき

- 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 転送する件数と親機に登録できる件数を確認して親機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 転送しても親機に登録されていた電話帳の内容は消えません。
- 親機で操作をしているとき、子機から親機に転送することはできません。

子機でよく電話をかける相手の方にワンタッチでかける（ホットラインダイヤル）

子機ではよく電話をかける相手の方にワンタッチで電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。(2-20〜2-21ページ)

電話帳からホットラインダイヤルに登録する

1 または で **登録したい相手の方を電話帳から選んだあと、** ホットラインダイヤル **を押す**

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了 第2▶

2 切 **を押す**

途中でやめるとき
切ボタンを押す

- 「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の第１番号を登録します。
- 第２番号を登録することはできません。

ホットラインダイヤルで電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ホットラインダイヤル **を押す**

池田 悟
0312345678

- スピーカーホン通話で電話をかけます。
- 通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。
- このあと、子機を充電器から取ってお話しすることもできます。

2 **相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら
切 **を押す**

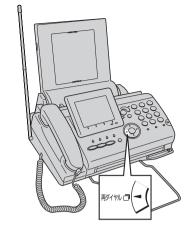
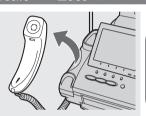
- 充電器から取って電話をかけたときは充電器に戻します。

■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**
ホットラインダイヤルボタンを２秒以上押します。
（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録を解除します。）

■ **子機を取ってホットラインダイヤルするときは**
① 通話ボタンを押す
② ホットラインダイヤルボタンを押す
③ 通話が終わったら充電器に戻す

お知らせ
- ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
- 新しく登録するときは、消去しなくても上書きされて登録できます。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、電話番号をダイヤルしなくても、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号を１件記憶しています。

親機で電話をかけ直す

1 **受話器を取る**

2 「ツー」という音が聞こえたら

再ダイヤル **を押す**

0312345678

画　質　　記録紙　登録/機能

3 通話が終わったら
受話器を戻す

途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときはスピーカーホンボタンを押します。

●受話器を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。
●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
●まちがい電話を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
●最後にかけた相手の方に電話をかけます。

●スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときは、スピーカーホンボタンを押します。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消すときは**

受話器を置いたまま操作します。
① 再ダイヤルボタンを押す
② キャッチ／消去 を押す
「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。

電話 基本編 ホームテレホン コピー／ファクス 留守番
電話をかけ直す（再ダイヤル）

子機では、最大10件記憶されています。

子機で電話をかけ直す

1 （再ダイヤルボタン）**を押す**

2 （▲）**または**（▼）**で選んだあと、**（通話）**を押す**

●子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。
●子機を置いたままで電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 子機の再ダイヤルの記憶を１件ずつ消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。
① （再ダイヤル）ボタンを押す
② （▲）または（▼）で消去したい再ダイヤルの記憶を選んだあと、（▶）を押す
③ （▲）または（▼）で「消去」を選んだあと、（▶）を押す
④ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴って選んだ再ダイヤルの記憶を消去します。）

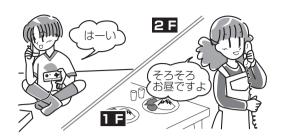
■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。
① 機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「再ダイヤル消去」を選んだあと、（▶）を押す
③ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴ってすべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出して、お話しします。

親機から子機を呼び出してお話しする

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき 1

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 お話しが終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

① 切ボタンを押す（内線通話が切れます。）
② 呼出音が鳴ったら、通話ボタンを押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

● スピーカーホンでの内線通話はできません。
● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。

子機から親機を呼び出してお話しします。

子機から親機を呼び出してお話しする

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 **を押し、親機の内線番号 0 わ 記号 を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

3 親機 子機

お話しする

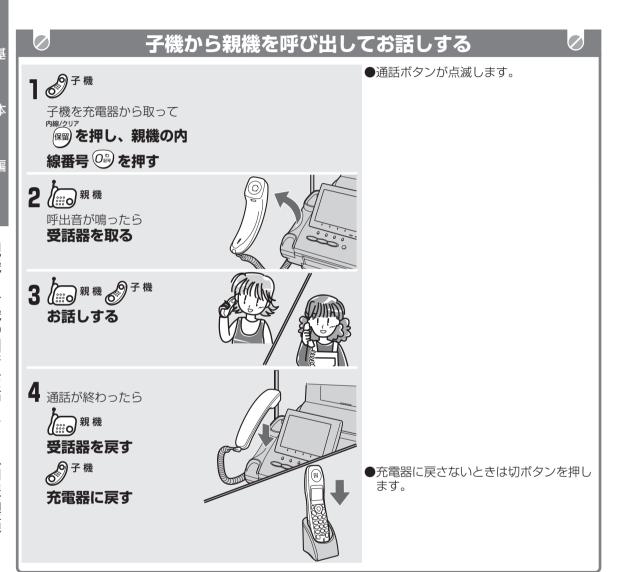
4 通話が終わったら

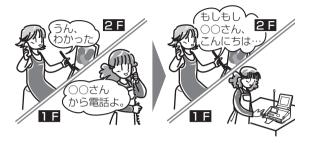
親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

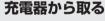
●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

かかってきた電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

外の相手の方からかかってきた電話を親機で受けたあと子機へとりつぐときの操作です。

親機から子機にとりつぐ

スピーカーホンで通話しているときは、受話器を取ってください。
スピーカーホン通話中はとりつぎ転送できません。

1 親機

通話中に
内線/保留 **を押し、子機の内線番号を押す**

（例）子機１のとき (1)

●相手の方には、保留メロディーが流れます。
●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
●子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

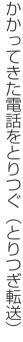
●通話ボタンが点灯します。
●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す

●受話器を置くと、子機にとりつがれ、外の相手の方とお話しができます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと、もう一度保留ボタンを押すと、外の相手の方との通話に戻ります。
また、一度受話器を戻してから、再度受話器を取ると、外の相手の方との通話に戻ります。

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機に
とりつぐときの操作です。

子機から親機へとりつぐ

1 子機

通話中に
内線/クリア 保留 を押し、親機の内線番号 0 わ 記号 を押す

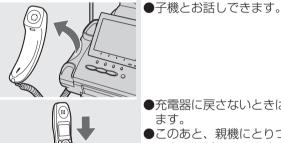
●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら、
受話器を取る

●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●このあと、親機にとりつがれ、外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**
保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと、もう一度保留ボタンを押すと、外の相手の方との通話に戻ります。

かかってきた電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。また、子機から他の子機（子機増設時）にとりつぐことができます。

親機から子機へ

1 親機

通話中に

内線／保留 **を押し、受話器を戻す**

●スピーカーホンで通話しているときでも、ひとり転送できます。

2 子機

充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯して外の相手の方とお話しできます。

子機から親機へ

1 子機

子機で通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

●親機の呼出音が鳴ります。

2 親機

呼出音が鳴ったら

受話器を取る

●外の相手の方とお話しできます。

子機から子機へ（子機増設時）

1 子機

子機で通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

充電器から取って

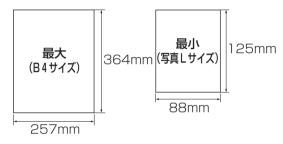
通話 **を押す**

●通話ボタンが点灯して外の相手の方とお話しできます。

コピーやファクスをする前に

原稿は、一度に 5 枚までセットできます。

■ **セットできる原稿のサイズ**

セットできる原稿のサイズは、次の通りです。

※ポラロイド写真や、Lサイズより小さい写真は、カラーハンドコピーで読み取ってください。

■ **セットできる原稿の厚さ**

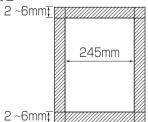
セットできる原稿の厚さは、次の通りです。

厚さ 0.06mm～0.2mm

※ただし、官製はがき（0.22mm）の原稿はセットできます。

■ **原稿を読み取れる範囲**

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅　245mm
- 最大読み取り長　送信原稿長(125～364mm)から上下とも2～6mmを引いた長さ

■ **キャリアシート（別売品）とは**

破れた原稿や薄い原稿など、そのままではセットできない原稿をはさんでファクスを送ったり、コピーしたりするための透明なビニールシートです。

■ **自動縮小機能について**

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がＡ４サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小します。

■ **そのままではセットできない原稿**

次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート（別売品 6-2ページ）にはさんでから１枚ずつセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの
  例：写真（Lサイズよりも小さいもの）など
- フィルム状のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの

■ **一度に 2 枚以上セットできない原稿**

- 長さ364mmを超える原稿
- キャリアシートにはさんだ原稿
- 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラやガラスの汚れの原因になります。汚れたときは、お手入れのしかた（ 5-3～5-4ページ）をご覧ください。
- 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面に傷がつきます。「原稿や記録紙がつまったときは」を参照して取り出してください。（5-5ページ）
- コピーが終わったあとなど、記録紙トレイの上に原稿があるときは、すぐに原稿を取り除いてください。
- 機械の性能上、またはご使用になる環境によって、コピーした内容が原稿の内容と少しずれることがあります。

コピーの禁止について

ファクシミリで原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで、法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。また、ハンドコピーを使って原稿を読み取る場合、複製したものを所有するだけで、法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

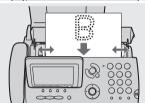
●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

コピーや送信する面を裏向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に 5 枚まで）

一度に **5 枚**まで
セットできる
のね

原稿をセットする

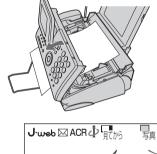
1 ホッパーカバーを開いて、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 原稿は裏向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に 5 枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込まれ始めたら、手を離してください。
● 6 枚以上の原稿があるときは、まず 5 枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送られて減った枚数分を、必ずセットされている原稿の一番上に追加してください。

■ **セットした原稿を取り出すときは**

操作パネルの中央を持って矢印の方向に操作パネルを開けます。このあと、原稿を取り除いて、操作パネルを閉めます。

カラーでコピーするときやファクスを送るときは、カラーボタンを押してカラーに切り替えます。

表示

カラーとモノクロを切り替える

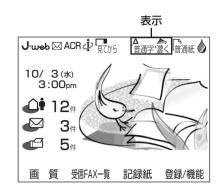
1 カラー を押してカラーとモノクロを切り替える

● 1回押すとカラーに切り替えます。もう一度押すとモノクロ（白黒）に戻ります。

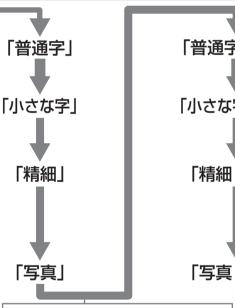
お知らせ

● カラーでプリントするときは、カラーインクカートリッジをセットしてから行ってください。
● カラーでファクス送信できるのは相手機がカラー電送対応（カラーFAX国際標準規格準拠）のファクシミリのときのみです。

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選んでコピーやファクスができます。

表示

画質・濃度を選ぶ

画質 を押すたびに切り替わる

● 1回押すと現在選んでいる画質・濃度を表示します。画質・濃度を表示中にもう1回押すと切り替わります。

モノクロのときは一巡すると「濃く」を表示し、濃度が変わります。（カラーのときは「濃く」を表示しません。濃度を変えることはできません。）

●大きくはっきり見える文字のときに選びます。

●もっと小さな字の場合に選びます。（「普通字」の倍の密度で読み取ります。）

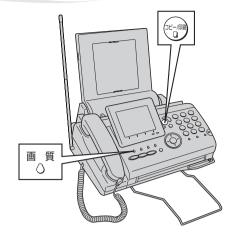
●細い線を使った図面や、更に小さな字の場合に選びます。（「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）受信側に「精細」が無いときは、自動的に「小さな字」に切り変わります。

●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送ると送信時間が長くかかります。カラーのときは、「写真」→「普通字」→「小さな字」→「精細」の順に長くかかります。
- モノクロコピーのときは、「普通字」や「小さな字」を選んでも、「精細」でコピーされます。カラーコピーのときは「普通字」「小さな字」「精細」を選んでも「写真」でコピーします。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「普通字」や「小さな字」、「精細」でカラーの原稿や写真をモノクロコピーすると、配色によっては部分的に写らなかったり、黒く写ったりすることがあります。
- 「小さな字」を選んでも文字や画像が小さくなる（縮小される）わけではありません。
- 一度、画質・濃度を選ぶと、コピーやファクスをするまで選んだ画質になります。停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

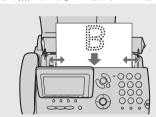
原稿を等倍（1.0倍）でコピーする

原稿を原稿挿入口にセットしてモノクロ（白黒）またはカラーコピーすることができます。（一度に5枚まで原稿をセットできます。）

等倍（1.0倍）でモノクロ（白黒）コピーする

あらかじめ記録紙をセットしておきます。（1-22～1-23ページ）
モノクロコピーするときは普通紙をお使いください。（コート紙や光沢紙はカラーコピーのときにお使いになると高品位なプリントができますが、黒ベタの多いモノクロコピーでは、横スジが目立つときがあります。）

途中でやめるとき

停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

1 原稿ガイドを合わせて **原稿を裏向きにセットする**

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 コピー/印刷 **を押す**

```
コピー中( A4 )    P. 1
   等倍:1.0倍

画 質
```

●コピーが始まります。

■ **B4サイズの原稿をセットしたときは**

B4幅の原稿を等倍コピーすると端が切れて、記録紙のサイズのみがプリントされます。
全体をコピーしたいときは縮小コピー（0.8倍／0.5倍）してください。（2-43～2-44ページ）

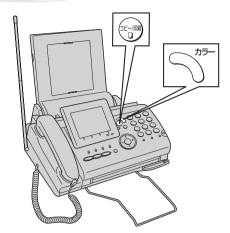
■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

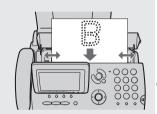
モノクロコピー中に画質ボタンを押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー中の原稿の画質を変えることはできません。）

お知らせ

- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中は内線通話や子機での通話をすることはできません。
- 記録紙排出口に記録紙がたまると、次に出てくる記録紙がつまることがあります。また、記録紙のプリント面に原稿が触れると乾いていないインクが付くことがあります。原稿と記録紙はその都度取り除いてください。
- A4サイズより小さい原稿（A5・B5など）は、はがきサイズとしてコピーされます。

原稿を等倍（1.0倍）でコピーする

カラーコピーするときはカラーインクカートリッジをセットしてください。
（黒インクカートリッジをセットしているときはカラーインクカートリッジに交換してください。5-24～5-25ページ）

等倍（1.0倍）でカラーコピーする

あらかじめ記録紙をセットしておきます。（1-22～1-23ページ）
カラーでプリントするときは、コート紙や光沢紙を使用すると、より高品位なプリントができます。

1 原稿ガイドを合わせて **原稿を裏向きにセットする**

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 カラー **を押す**

●ディスプレイに「カラー」と表示されていることを確認してください。（2-39ページ）

3 コピー/印刷 **を押す**

コピー中(A4)　　P. 1
等倍:1.0倍

●コピーが始まります。

途中でやめるとき

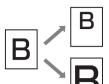
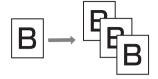
停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

お知らせ

- カラーコピーのときの画質は写真モードです。（画質ボタンを押すと画面の表示は変わりますが、画質は変わりません。）
- 仕上がりの色を調整することができます。（色調整3-52ページ）
- 記録紙排出口の前には記録紙が排出されるのに十分なスペースをとってください。
  スペースが少なかったり、前に物が置いてあると、記録紙がつまる原因となります。
- 記録紙排出口に記録紙がたまると、次に出てくる記録紙がつまることがあります。また、記録紙のプリント面に原稿が触れると乾いていないインクが付くことがあります。原稿と記録紙はその都度取り除いてください。
- A4サイズより小さい原稿（A5・B5など）は、はがきサイズとしてコピーされます。

拡大／縮小・複数枚のコピーをする

原稿を原稿挿入口にセットしてモノクロ（白黒）またはカラーで拡大／縮小・複数枚のコピーすることができます。
（一度に 5 枚まで原稿をセットできます。）
複数枚コピーは等倍（1.0倍）のみです。

拡大／縮小コピー

複数枚コピー（等倍のみ）

拡大／縮小コピーをする

あらかじめ記録紙をセットしておきます。（1-22～1-23ページ）
モノクロコピーするときは普通紙をお使いください。（コート紙や光沢紙はカラーコピーのときにお使いになると高品位なプリントができますが、黒ベタの多いモノクロコピーでは、横スジが目立つときがあります。）
カラーでコピーするときは、コート紙や光沢紙を使用すると、より高品位なプリントができます。

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 モノクロ（白黒）コピーするときは

画質 を押して画質を選ぶ

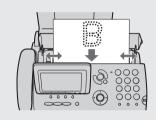
カラーコピーするときは

カラー を押す

●カラーコピーするときは、ディスプレイに「カラー」と表示されていることを確認してください。

3 ホームプリント **を押す**

4 **または** **で「コピープリント」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

5 **または** **で「拡大・縮小コピー」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

1 等倍 1.0倍
2 拡大 2.0倍
3 拡大 1.4倍
4 拡大 1.2倍
5 縮小 0.8倍
で選択，[決定] で決定
画 質　　記録紙　戻 る

等倍（1.0倍）コピー

拡大（2.0倍/1.4倍/1.2倍）コピー

（例）

縮小（0.8倍/0.5倍）コピー

（例）

次ページへ→

→つづき

6 または で倍率を選び、FAXスタート決定 を押す
（等倍　1.0倍／拡大　2.0倍／拡大　1.4倍／拡大　1.2倍／縮小　0.8倍／縮小　0.5倍）

拡大2.0倍
[コピー]でコピーを開始します
画　質　　記録紙　戻　る

7 コピー/印刷を押す

●コピーが始まります。

複数枚のコピーをする（等倍のみ）

あらかじめ記録紙をセットしておきます。（1-22～1-23ページ）
モノクロコピーするときは普通紙をお使いください。（コート紙や光沢紙はカラーコピーのときにお使いになると高品位なプリントができますが、黒ベタの多いモノクロコピーでは、横スジが目立つときがあります。）
カラーでコピーするときは、コート紙や光沢紙を使用すると、より高品位なプリントができます。

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 モノクロ（白黒）コピーするときは

画質 を押して画質を選ぶ

カラーコピーするときは

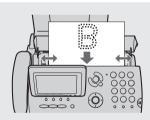
を押す

●カラーコピーするときは、ディスプレイに「カラー」と表示されていることを確認してください。

3 ホームプリント を押す

4 または で「コピープリント」を選び、FAXスタート決定 を押す

次ページへ→

→つづき

●コピーが始まります。

■ **複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**

枚数を入力し直します。

■ **B4サイズの原稿をセットしたときは（拡大/縮小コピーのとき）**

B4幅の原稿を等倍コピーすると端が切れて、記録紙のサイズのみがプリントされます。
全体をコピーしたいときは縮小コピー（0.8倍／0.5倍）してください。

■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

モノクロコピー中に画質ボタンを押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー中の原稿の画質を変えることはできません。）

お知らせ

- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中は内線通話や子機での通話をすることはできません。
- 原稿と記録紙はその都度取り除いてください。（記録紙排出口に記録紙がたまると、次に出てくる記録紙がつまることがあります。また、記録紙のプリント面に原稿が触れると乾いていないインクが付くことがあります。）
- 記録紙排出口の前には記録紙が排出されるのに十分なスペースをとってください。
  スペースが少なかったり、前に物が置いてあると、記録紙がつまる原因となります。
- カラーコピーでは、仕上がりの色を調整することができます。（色調整3-52ページ）
- カラーの複数枚コピーをするときは、読み取れる原稿サイズがはがきサイズまでになります。（はがきサイズよりも大きいサイズの原稿でカラーの複数枚コピーをしても、はがきサイズまでしかプリントできません。）

コードレスカラーハンドコピーをお使いになる前に

コードレスカラーハンドコピーを使うと、ノートなどのとじ込み原稿や、セットできない大きさの原稿をコピーできます。また、コードレスなので離れた場所でもコピーできます。

ハンドコピーを本体から取り外す

1 ハンドコピー取外しボタンを押してハンドコピーを取り外す

ハンドコピー取外しボタン

●必ずハンドコピー取外しボタンを押して取り外します。

2 ハンドコピーを表向き（ガラス面が下）にする

取り外したままの状態では裏向き（ガラス面が上）になっています。

表向き（ガラス面が下）にします。

ハンドコピーを本体に取り付ける

1 ハンドコピーを裏向き（ガラス面が上）にする

2 ハンドコピーを本体に取り付ける

●両端をしっかり押して取り付けてください。

■ **ハンドコピーが正しく取り付けられなかったときは**

- 音声で「ハンドコピーをセットし直してください。」と2回お知らせしたあと、ディスプレイに「ハンドコピーを再セット」と表示されます。正しくセットし直してください。
- ハンドコピーが正しく取り付けられていないときは、原稿をセットしたときに、ディスプレイに「ハンドコピー外れています」と表示され、ファクスを送ったりコピーができません。

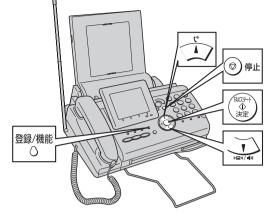
■ **ハンドコピーの充電池残量について**

ハンドコピーの充電池残量がなくなると、動作中ランプが点滅して、「ピピッ、ピピッ」と警告音が鳴ります。ハンドコピーを本体に取り付けて充電してください。
充電池の残量がなくなると、読み取った内容は全て消えてしまいます。

（**連続動作時間　約30分**
動作待機時間　約90分）

お知らせ

- 充電池を交換したときや充電池の残量が完全になくなったときは、必ず8時間以上充電してください。（充電時間が短いと、ハンドコピーを使用したときに、警報音が鳴らずに突然ハンドコピーが使用できなくなったり、コピーした画像が悪くなることがあります。）
- ハンドコピーを使用しないときは、本体にハンドコピーを取り付けて充電してください。

ハンドコピーをお使いになるときは、ハンドコピーを取り外す前に、倍率（0.8、1.0、1.4）を登録します。

倍率を選ぶ

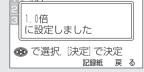
ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「詳細設定」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で「FAX/コピー」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

4 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー倍率設定」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で倍率を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

6 停止 **を押す**

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき

戻るボタンを押す

コードレスカラーハンドコピーを使ってコピーする

ハンドコピーで読み取ったデータをプリントするときの操作です。ハンドコピーの取り外しかたや設定のしかたなど、詳しくは「コードレスハンドコピーをお使いになる前に」をご覧ください。(2-46～2-47ページ)

読み取り画質を「カラー」で読み取ったあと、「モノクロ文字」または「モノクロ写真」で読み取ることはできません。また「モノクロ文字」または「モノクロ写真」で読み取ったあと、「カラー」で読み取ることもできません。
画質スイッチを切り替えるときはハンドコピーのメモリーにあるデータをすべて消去してから行ってください。

ハンドコピーで読み取ってすぐにプリントする

あらかじめ、ハンドコピーの倍率を選んでおきます。(2-47ページ)

1 ハンドコピーを本体から取り外す（2-46ページ）

倍率　:1.0倍

●本体（親機）のディスプレイに設定している倍率を表示します。

2 画質スイッチで読み取り画質を選び、読取幅スイッチで読み取り幅を選ぶ

●カラーを読み取るときは、**「カラー」**にセットします。
●文字原稿を読み取るときは、**「モノクロ文字」**にセットします。
●写真や濃淡のある原稿を読み取るときは、**「モノクロ写真」**にセットします。
●読み取り幅は**「はがき」「A4」「B4」**の中からセットします。

3 読み取る原稿の左端を読取開始位置と基準位置に合わせて、読み取り/停止 を押す

● 動作中 緑色に点灯します。

4 矢印の方向に動かす

動作中 読み取る前は、緑色に点灯しています。
緑色点灯

動作中 読み取り始めると緑色に点滅します。
緑色点滅

動作中 読み取り終わると緑色の点灯に戻ります。
緑色点灯

矢印

ハンドコピーを動かすと読み取りを始めます。ハンドコピーの底を原稿に押し当てるようにして、手前に動かしながら読み取ってください。

動作中 赤色点灯
ハンドコピーを動かす速度が速すぎると「ピー」と鳴って赤色に点灯します。
→もう少しゆっくりと動かしてください。

動作中 消灯
読み取り中にメモリーがいっぱいになると「ピピピピ」と鳴って消灯します。
→これ以上読み取れません。メモリーに記録されている分だけをプリントするか、不要なメモリーを消去します。

アドバイス！
●ハンドコピーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などをハンドコピーの左端に置き、それに添わせて動かすと曲がりにくくなります。

●読み取りを失敗したときは、消去 を約2秒間押すとすぐに消去できます。(2-50ページ)

次ページへ→

→つづき

5 読み取りが終わったら 読み取り/停止 **を押す**

動作中 が消灯して、「ピー」と鳴ったら、メモリーへの記録が終了です。
続けて読み取るときは、もう一度手順 2 から操作します。

6 ハンドコピーを本体に取り付ける（2-46ページ）

●新しく読み取った枚数を表示します。
●読み取ったデータを確かめるときは約5秒以内にFAXスタート/決定ボタンを押します。
●すぐにプリントするときはコピー/印刷ボタンを押します。何も操作しなければ、約5秒後に自動的にプリントが開始します。
●プリントを途中でやめるときは停止ボタンを押します。

■ **読み取る速度について**

● 読み取る画質や倍率によって、速度を変えてハンドコピーを動かします。

「モノクロ文字」にセットして、倍率を「0.8」または「1.0」にセットしたとき

A4サイズの当社標準原稿（英文字で約700字程度の原稿）を約 3 秒で読み取るぐらいの速度が目安です。

「モノクロ写真」や「カラー」にセットしたとき、または倍率を「1.4」にセットしたとき

この速度よりもゆっくりと動かします。

● 速すぎると 動作中 が赤色に点灯して「ピー」音が鳴りますので、もうすこし、ゆっくり動かしてください。遅く動かすことは問題ありません。

● 読み取り/停止ボタンを押したあと、約30秒間何も操作しないと読み取りが停止します。

■ **A4サイズより長く読み取ったときは**

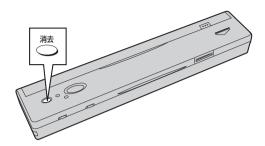
A4サイズを超える部分はプリントしません。「分割コピー」（6-7ページ）の設定を「あり」にすると、A4サイズ以上の部分を 2 枚目にプリントするようにできます。

■ **読み取り幅を「B4」にして読み取ったときは**

「B4」で原稿を読み取って等倍コピーすると端が切れて、記録紙のサイズのみがプリントされます。全体をコピーしたいときは倍率を「0.8倍」に設定してから読み取ってください。（2-47ページ）

お知らせ

● 記録紙やインクカートリッジがないときは、自動的にプリントされません。
記録紙やインクカートリッジをセットして、ハンドコピーに記録されているデータをプリントする操作（2-53ページ）をしてください。
● ハンドコピーを本体に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータがありません」とメッセージが表示されます。
このときは、新しいデータとして、プリントできませんので、すべてのデータを指定するか、1ページずつプリントしてください。
● 拡大コピーするときは、基準位置から約15cm程度の幅で、読み取ってください。拡大したあとの大きさがA4サイズを超えるものはプリントした画像が切れてしまいます。
● とじ込み原稿など、中央に段差のある原稿を読み取るときは、ハンドコピーと原稿の間にすきまができないように読み取ってください。黒く読み取ったり、文字がぼやけたりする原因になります。
● 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。読み取り面のガラスが汚れたり、読み取ったデータをプリントしたときに白や黒い線が出たりする原因となります。

読み取りをやり直したいときなど、読み取ったあとすぐに消去するときの操作です。

読み取ったあとすぐに消去する

ハンドコピーを取り外したままで操作します。

1 消去を約 2 秒間押す

- 「ピッ」と鳴って、最後に読み取ったデータを1件だけ消去します。
  続けて消去するときは、もう一度 消去 を約 2 秒間押します。
- すべての読み取ったデータを消去すると「ピピッ」と鳴って、メモリーランプが消灯します。

■ ハンドコピーを本体に取り付けたあと消去するときは

ハンドコピーを本体に取り付けたあと消去したいときは、「ハンドコピーのメモリーを消去する」（2-52ページ）の操作で消去してください。

■ ハンドコピーの記録枚数について

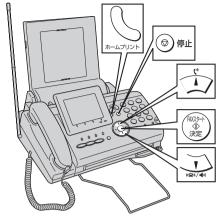
ハンドコピーで読み取った内容は、メモリーに記録されます。記録できる枚数は次の通りです。

記録枚数	**約15枚**（「モノクロ文字」または「モノクロ写真」で読み取ったとき） ※A4サイズの当社標準原稿（英字で文字が約700字程度の原稿） **（「カラー」で読み取ったときはA4サイズ約1枚、写真Ｌサイズ約４枚）**
記録件数	最大66件
読み取る長さ	最大１m

■ ハンドコピーのメモリー残量について

ハンドコピーのメモリー残量はメモリーランプの点灯状態でわかります。

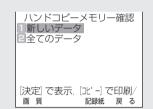
ランプの点灯状態	メモリー残量
メモリー 消　灯	メモリーに何も記録されていないとき
メモリー 緑色点灯	メモリーに読み取った内容が記録されているとき
メモリー 緑色点滅（ゆっくりした点滅）	メモリーが残り少なくなっているとき
メモリー 緑色点滅（速い点滅）	メモリーがいっぱいで、これ以上記録できないとき

ハンドコピーを本体に取り付けたあと、データを確認するときの操作です。

ハンドコピーのデータを確認する（ハンドコピーメモリー確認）

ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

1 ホームプリント **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピーメモリー確認」を選び、** 決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で確認したいデータ※を選び、** 決定 **を押す**

- 記録されているデータを表示します。
- スクロール/拡大/縮小/回転/プリント/消去することができます。(2-72～2-73ページ)
- データが完全に表示されるまで時間がかかることがあります。スクロール/拡大/縮小/回転の機能は、完全にデータが表示されるまで働きません。

4 **確認が終わったら、** 停止 **を押す**

- 待機画面に戻ります。

※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータのことです。

お知らせ

- 読み取り幅を「B4」で読み取ると、データを表示させてもA4幅までしか表示されません。また長さもA4までしか表示されません。

ハンドコピーのメモリーを消去する

ハンドコピーを本体に取り付けた状態での操作です。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 ホームプリント **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピーメモリー確認」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

3 消去するデータを選んで消去する

新しく読み取ったデータ（新しいデータ※）を消去するとき

① ▲ または ▼ で「新しいデータ」を選び、キャッチ 消去 を押す

② FAXスタート 決定 を押すと、消去されます。

メモリーに残っているすべてのデータを消去するとき

① ▲ または ▼ で「全てのデータ」を選び、キャッチ 消去 を押す

② FAXスタート 決定 を押すと、消去されます。

ページを指定して消去するとき

① ▲ または ▼ で「新しいデータ」または「全てのデータ」を選び、FAXスタート 決定 を押す

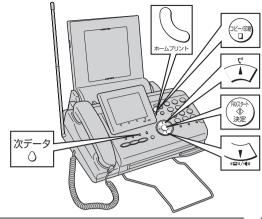
② 次データ で消したいページを表示する

③ キャッチ 消去 を2回押すと、消去されます。

※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータのことです。

お知らせ

- ハンドコピーを本体に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータありません」とメッセージが表示されます。
  このときは、新しいデータとしての消去はできませんので、全てのデータを指定するか、ページ番号を指定して操作してください。
- 消去するデータによっては若干時間がかかることがあります。消去中はハンドコピーを取り外さないでください。

読み取ったデータは消去しないかぎりくり返しプリントすることができます。また、必要なページだけをプリントすることもできます。

ハンドコピーに記録されているデータをプリントする

ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

1 [ホームプリント] **を押す**

2 [▲] **または** [▼] **で「ハンドコピーメモリー確認」を選び、**[FAXスタート/決定] **を押す**

3 プリントするデータを選ぶ

新しく読み取ったデータ（新しいデータ※）をプリントするとき

[▲]または[▼]で「新しいデータ」を選んで[コピー/印刷]を押す

●最後にハンドコピーを取り外して、読み取ったデータ（新しいデータ）をプリントするときに選びます。

メモリーに残っているすべてのデータをプリントするとき

[▲]または[▼]で「全てのデータ」を選んで[コピー/印刷]を押す

ページを指定してプリントするとき

① [▲]または[▼]で「新しいデータ」または「全てのデータ」を選び、[FAXスタート/決定]を押す

② [次データ]で印刷したいページを表示する

4 [コピー/印刷] **を押す**

●プリントを開始します。

途中でやめるとき

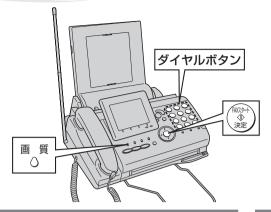
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき

戻るボタンを押す

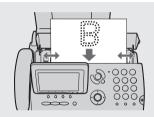
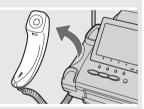
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータのことです。

ファクスを送る

ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に5枚までセットできます。

モノクロ（白黒）でファクスを送る

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

途中でやめるとき
受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 **受話器を取る**

●受話器を置いたままダイヤルするときは、スピーカーホンボタンを押します。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（2-56ページ）

4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

```
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画　質          記録紙　登録/機能
```

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

相手の方が電話を受けたら…

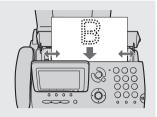
●お話しすることができます。
●相手の方のファクシミリが留守番電話で受けたときなどは音声の案内にしたがい操作します。

5 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
 を押す

●送信が始まります。
●「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信　2-56ページ）
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。5-5ページ）

6 **受話器を戻す**

●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは、ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。
●ファクス送信が終わると鳥の声が聞こえます。（終了音）

カラーでファクスを送るときの操作です。
相手機がUX-W90CLなどのカラー受信できるファクシミリ（カラーFAX国際標準規格準拠）のときにカラーで送ることができます。

カラーでファクスを送る

途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 カラー **を押したあと、** 画質 **を押して画質を選ぶ**

●ディスプレイに「カラー」と表示されていることを確認してください。（2-39ページ）
●「普通字」「小さな字」「精細」「写真」の中から選びます。はじめは「写真」になっています。小さな字の原稿などを送るとき、画質を調整できます。(2-40ページ)

3 受話器を取る

●受話器を置いたままダイヤルするときは、スピーカーホンボタンを押します。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（2-56ページ）

4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

相手の方が電話を受けたら…

●お話しすることができます。
●相手の方のファクシミリが留守番電話で受けたときなどは音声の案内にしたがい操作します。

5 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

を押す

●送信が始まります。
●「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わります。
（おまかせ送信　2-56ページ）
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。5-5ページ）

6 受話器を戻す

●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは、ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。
●ファクス送信が終わると鳥の声が聞こえます。（終了音）

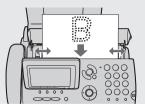
■ 相手機がカラー電送対応（カラーFAX国際標準規格準拠）でないときは

相手機がカラー電送対応（カラーFAX国際標準規格準拠）でないときはカラー受信できません。カラーでファクスを送ると自動的に画質が「写真」に切り替わってモノクロで送信します。

お知らせ

● カラーでファクス送信するときは、相手機がカラーファクシミリでも、相手の方では実際の原稿とは若干異なった色でプリントされます。
● カラーでファクスを送るときは、画質を「写真」にすると通信時間が短くなります。

相手の方のファクシミリがファクス専用のときやお話ししないで送るときの操作です。

お話ししないでそのままファクスを送る

途中でやめるとき
スピーカーホンボタンを押す

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
- カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 画質 を押して画質を **選ぶ**

3 スピーカーホン **を押す**

スピーカーホン ダイヤル
画 質　記録紙　登録/機能

4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
画 質　記録紙　登録/機能

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

5 電話がつながったら
を押す

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。5-5ページ）
- ファクス送信が終わると鳥の声が聞こえます。（終了音）
- ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。

■ **「通信エラーがありました」と聞こえたら****（5-16ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは****（2-38ページ）**

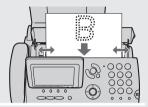
■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**
「終了音」（3-52ページ）で切り替えます。

■ **おまかせ送信**
相手の方が受信操作をすると、「ピー」音（ファクス送信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は、相手の方のファクシミリに登録されている番号です。実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。必要に応じて相手の方に確認してください。

親機に原稿をセットして、子機の操作で送ることもできます。

子機の操作でファクスを送る

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 親機
原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 子機
通話 **を押す**

●通話ボタンが点灯します。

4 子機
「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

5 子機
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
機能 **を押す**

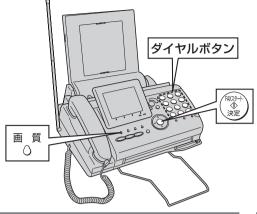
●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信　2-56ページ）
●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。

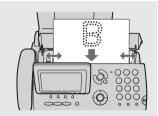
6 子機
充電器に戻す

お知らせ

● 回線の状態でおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」音が聞こえたら機能ボタンを押してください。

海外へファクスを送る

各国際通信のご利用については事前の加入契約は不要です。
時差など考えて上手にご利用ください。

海外へファクスを送る

（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 受話器を取る

●受話器を置いたままダイヤルするときはスピーカーホンボタンを押します。

4 電話会社の識別番号をダイヤルする

××××

画　質　記録紙　登録/機能

●「マイライン」「マイラインプラス」をご契約されているときは、ダイヤルの必要はありません。

5 010をダイヤルする

××××010

画　質　記録紙　登録/機能

6 国番号を入れる

（例）アメリカ

1

××××0101

画　質　記録紙　登録/機能

次ページへ→

→つづき

7 **地域番号を入れる**

（例）2 1 2

```
××××0101212

画 質        記録紙 登録/機能
```

●最初にくる「0」は必要ありません。

8 **ファクス番号をダイヤルする**

（例）1 2 3 — 4 5 6 7

```
101212 1234567

画 質        記録紙 登録/機能
```

●送信が始まります。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。5-5ページ）
●相手が出る前にFAXスタート/決定ボタンを押すとファクスを送信できない場合があります。

9 電話がつながったら

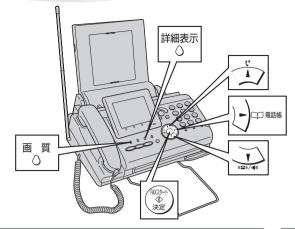
を押す

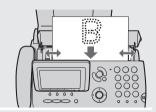
10 **受話器を戻す**

お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- インターネットダイヤルを利用して、海外へファクスを送ることもできます。（4-14、4-16ページ）

電話帳ダイヤルや再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの上下で相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分、また1人につき2つの番号を登録できます。(2-11～2-13、2-20～2-21ページ)

親機の電話帳でファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
- カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 電話帳 **を押してから、** ▲ **または** ▼ **で相手の方を選ぶ**

- ディスプレイで相手の方を確かめます。
- 第1番号にファクスを送るときは、手順3のあと、FAXスタート/決定ボタンを押して送ることもできます。

4 詳細表示 **を押す**

電話帳1件表示
名前：池田　悟
読み：ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
番号①：012345678
番号②：09012345678
E-Mail：ikeda@sharp.co.jp
で選択,［決定］で発信,新
修　正　戻　る

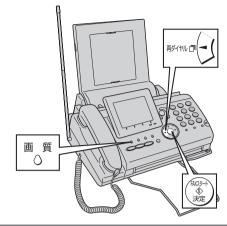
5 ▲ **または** ▼ **で電話番号（第1番号または第2番号）を選んだあと、** FAXスタート/決定 **を押す**

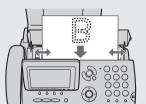
- 自動的に送信を始めます。
- ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。

■ **「通信エラーがありました」と聞こえたら（5-16ページ）**

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。必要に応じて相手の方に確認してください。

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、電話番号をダイヤルしなくても、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

親機の再ダイヤルでファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）
- カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**

3 再ダイヤル **を押す**

再ダイヤル
池田　悟 0312345678
[決定] で発信, [消去] で消去 画　質　　　　記録紙

- ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

4 FAXスタート/決定 **を押す**

- 自動的に送信を始めます。
- ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。

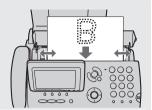
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（2-29ページ）**

■ **受話器を取って再ダイヤルするときは**
受話器を取って、「ツー」音を確かめたあと再ダイヤルボタンを押します。「ピー」音が聞こえたら、または相手の方とつながったら、FAXスタート/決定ボタンを押して受話器を戻します。

お知らせ

- 子機でかけた電話番号を親機で再ダイヤルすることはできません。
- 親機で再ダイヤルできる番号は、32ケタまでです。

親機にセットした原稿を、子機の電話帳ダイヤルや再ダイヤルを使ってファクス送信することができます。

子機の電話帳でファクスを送る

1 親機

原稿ガイドを合わせて

原稿を裏向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 親機

画質 **を押して画質を選ぶ**

3 子機

または　で相手の方を選ぶ

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了　第2▶

4 子機

で電話番号（第1番号または第2番号）を選んだあと、

通話 **を押す**

池田 悟
0312345678

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。
●最初は第1番号を選んでいます。
（▶）で電話番号を選ばなくても第1番号でファクスを送ることができます。

5 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能 **を押す**

●送信が始まります。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると、自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 2-56ページ）

6 子機

充電器に戻す

■ **「ファクスを送信します」という音声が流れないときは**

回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」音が聞こえたら機能ボタンを押してください。

子機の再ダイヤルでファクスを送る

1 親機

原稿ガイドを合わせて

原稿を裏向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）
●カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 親機

画質 **を押して画質を選ぶ**

3 子機

を押す

〈再ダイヤル01〉
0312345678
15：01

4 子機

または で相手の方を選んだあと、

を押す

0312345678

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。

5 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能 **を押す**

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると、自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 2-56ページ）

6 子機

充電器に戻す

■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（2-30ページ）**

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機で再ダイヤルできるのは、32ケタまでです。

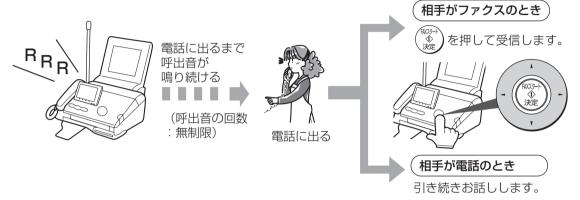
ファクスの受けかたを選ぶ

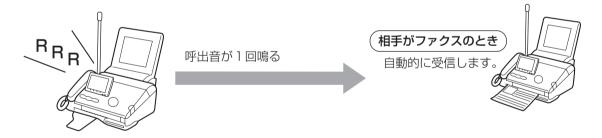
ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

留守 が消灯している状態です。

■在宅モード時の操作（2-67～2-68ページ）

●ご購入時、呼出音の回数は「無制限」になっています。

一定の呼出音が鳴った（1～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。（2-69ページ）

●ファクス専用としてお使いになるとき

ファクス専用で使われるときは、呼出音の回数を1回に設定します。（2-70ページ）
この設定にすると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になりますので、相手の方とお話しできません。

留守モード（留守にするとき）

が点灯している状態です。

■留守モード時の動作（2-78ページ）

設定した回数の呼出音が鳴る

（呼出音の回数：4回）
※呼出音の回数は変更できます。（2-79ページ）

応答メッセージが流れる
「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件を…」

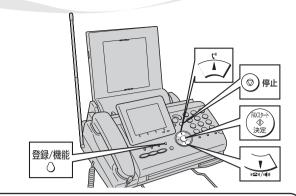
相手がファクスのとき
相手がスタートボタンを押すと自動的に受信します。

相手が電話のとき
通常の留守番電話の動作になります。

送られてきた原稿は、プリントするときに縮小します。

どのモードでファクスを受信しても、プリントするときに受信日付や相手の方の電話番号をプリントするために、縮小されます。（モノクロ原稿のとき約90%、カラー原稿のとき約89%に縮小されます。）
縮小しないでプリントしたいときは、6-6ページの「縮小受信」の設定を「なし」にします。
※ただし、「なし」に設定されても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、厳密に1対1にならない場合があります。

ファクスを受ける

相手の方がカラーで送信したときは、カラーで受信することができます。
受信しながら記録紙にプリントするか、プリントしないかを選ぶことができます。（見てからプリント）

ファクス受信には次の2つの方法があります。

●待機画面に見てからが表示されているとき

（「見てからプリント」の設定が**「見てからプリント」**のとき）

ファクス受信→**受信データをディスプレイで確認**

→必要なものだけプリントする（データは何度でもプリントできます。）

●待機画面に見てからが表示されていないとき

（「見てからプリント」の設定が**「受信しながらプリント」**のとき）

ファクス受信→**受信しながらプリントされる**

（データはプリントしても残っています。何度でもプリントできます。）

工場出荷時は、「見てからプリント」に設定されています。

ファクスを受信しながらプリントするかしないかを選ぶ

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ または ▼ **で「詳細設定」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

3 ▲ または ▼ **で「FAX/コピー」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

4 ▲ または ▼ **で「見てからプリント」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

1見てからプリント
2受信しながらプリント
で選択，［決定］で決定
記録紙　戻る

5 ▲ または ▼ **で受信のしかたを選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

6 停止 **を押す**

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

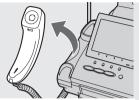
1つ前に戻るとき

戻るボタンを押す

●待機画面で見てからの表示を確認してください。表示されているときは、ファクスを受信したときすぐに記録紙にプリントしません。

親機の操作でファクスを受ける（在宅モード）

原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●電話に出なかったとき、自動的にファクス受信に切り替わるよう設定することができます。（在宅時コール回数、2-70ページ）

2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて
を押す

●メモリー受信が始まります。

3 **受話器を戻す**

●メモリー受信が終わると鳥の声が聞こえます。（終了音）
●「見てからプリント」の設定を「受信しながらプリント」にしている場合で、正しくプリントできなかったときでもメモリーに受信データは保存されています（最大50件まで）。何度でもプリントすることができます。（2-74ページ）

■ **メモリー受信について**
ファクスを受信したときは、送られてきたファクスをいったんメモリーに記録します。プリント後もデータは残っています。

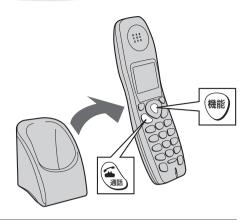
■ **メモリー受信枚数について**
モノクロで送られてくると、当社標準A4モノクロ原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「小さな字」で一度に約120枚までメモリー受信できます。カラーで送られてくると、当社標準A4カラー原稿（写真Lサイズ１枚と約170字程度の原稿）を「写真」で一度に30枚までメモリー受信できます。

■**メモリー残量について**
現在のメモリー残量（あとどれくらい受信できるか）を確認するには、次の操作をします。
① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）
② 受信情報ボタンを押す（受信FAXの合計件数、未確認データの件数、メモリー残量（%）が表示されます。）

■ **メモリーが残り少なくなったときは**
メモリーが残り少なくなると、待機画面に「FAX受信メモリー残量が少なくなっています」と表示されます。
メモリーが残り少なくなっているときなど、受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり受信エラーになります。不要な受信データは早めに消しておくことをおすすめします。(2-76〜2-77ページ)

■**メモリーがいっぱいになったときは**
待機画面に「FAX受信メモリーが一杯です」と表示されますので、受信データを消してください。（2-76〜2-77ページ）

■ **おまかせ受信について**
相手の方が自動送信しているときは、電話を受けると「ポー・ポー…」音が聞こえます。このあと、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。
（「おまかせ受信」を解除するには 6-6ページ）
※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたらFAXスタート/決定ボタン（子機使用中のときは機能ボタン）を押してください。

■ **親機のディスプレイに「メモリー受信があります」と表示しているときは**
親機のディスプレイに「メモリー受信があります」と表示されているときは、一度も確認またはプリントしていない受信データがあります。
受信データを確認またはプリントすると表示が消えます。（2-71，2-74ページ）

子機の操作でファクスを受ける（在宅モード）

親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

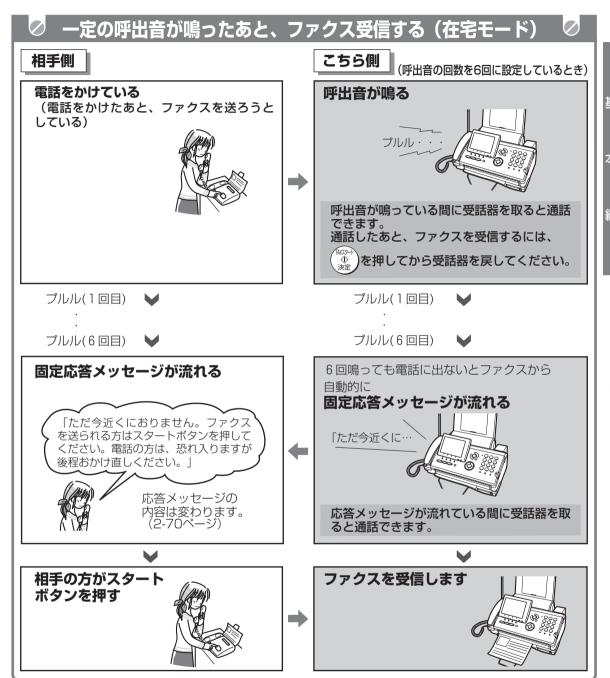
●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
 を押して、充電器に戻す

●親機に原稿をセットしているときに機能ボタンを押すと送信になります。

お知らせ

- 相手の方がファクスを自動送信してきたときは、呼出音が鳴っている間に、相手の方のファクシミリが送信を中止してしまうことがあります。こんなときは、在宅時コール回数を6回以下に設定してください。（2-70ページ）
- キャッチホンサービスをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- 留守モード（2-78〜2-79ページ）でお使いのときは、動作が異なります。
- 回線の状態でおまかせ受信（2-66ページ）が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたらFAXスタート/決定ボタンを押してください。（子機使用中のときは機能ボタンを押してください。）
- 停電や親機の電源を切ると、メモリー受信したデータはクリアレポート（5-20ページ）を残してすべて消えてしまいます。残しておきたい受信データは早めにプリントしてください。（2-74ページ）
- 相手機がUX-W90CLなどのカラー送信できるファクスのときは（国際規格ITU-Tに準拠したカラー対応のファクスのときは）カラーで受けることができます。ただし、原稿とは若干異なった色でプリントします。

呼出音の回数を設定（2-70ページ）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

お知らせ

- 相手の方が自動送信や、固定メッセージが流れる前にスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。
- 在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたいときは、「在宅時コール回数」を6回以下に設定してください。
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（2-78〜2-79ページ）
- 増設電話機をお使いのとき、固定応答メッセージが流れている間に増設電話機の受話器を取っても通話できません。（応答メッセージも止まりません。）

呼出音の回数を変える（在宅モード時）

1 登録/機能 **を押す**

2 または で「音関連機能」を選び、FAXスタート 決定 **を押す**

3 または で「親機呼出音」を選び、FAXスタート 決定 **を押す**

4 または で「在宅時コール回数」を選び、FAXスタート 決定 **を押す**

5 または で「回数選択」を選び、FAXスタート 決定 **を押す**

●はじめは「無制限呼出」になっています。

6 **ダイヤルボタンで、呼出音の回数を入力する（01～25回）**

7 FAXスタート 決定 **を押す**

8 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

次の場合、固定応答メッセージの内容は変わります。

受信できないとき（受信メモリーがないときなど）	「ただ今近くにおりません。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。）

■ 呼出音を変えるときは（1-30～1-31ページ）

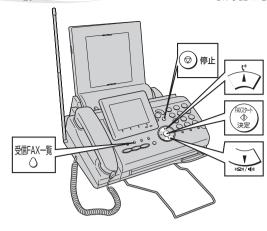
受信データを画面に表示する（見てからプリント機能）

メモリー受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。

待機画面に見てからが表示されているとき
（「見てからプリント」の設定が「見てからプリント」のとき、3-52ページ）
ファクスを受信しながらプリントしません。
確認後、必要なものだけプリントできます。

待機画面に見てからが表示されていないとき
（「見てからプリント」の設定が「受信しながらプリント」のとき、3-52ページ）
ファクスを受信しながらプリントします。
プリント後も、ディスプレイで受信データを確認できます。

メモリー受信したデータを表示する（見てからプリント機能）

1 受信FAX一覧 **を押す**

●FAX受信リストが表示されます。
●７件目以降は▲または▼で表示させます。

2 ▲ または ▼ で **表示したい受信データを選んだあと、**

FAXスタート/決定 **を押す**

●メモリー受信したデータを表示します。
●表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。（2-72〜2-73ページ）
●データが完全に表示されるまで時間がかかることがあります。スクロール／拡大／縮小／回転の機能は、完全にデータが表示されるまで働きません。

3 停止 **を押す**

●待機画面に戻ります。

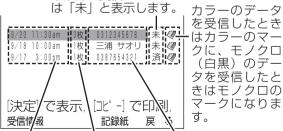
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

■ FAX受信リストについて

カラーのデータを受信したときはカラーのマークに、モノクロ（白黒）のデータを受信したときはモノクロのマークになります。

受信した日付・時刻を表示します。

受信した枚数（ページ数）を表示します。

ナンバーディスプレイ利用時には相手の方の番号を表示します。
電話帳に登録しているときは名前を表示します。

■ 「受信データがありません」と表示したときは

メモリー受信されているデータはありません。

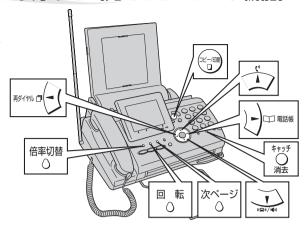
■ 受信情報を確認したいときは

受信FAX一覧ボタンを押したあと、受信情報ボタンを押す（受信データの件数、未確認データの件数、メモリー残量（%）が表示されます。）

お知らせ

● A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。

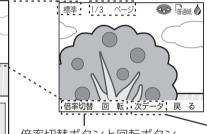
受信データを画面に表示する（見てからプリント機能）

メモリー受信したデータをディスプレイに表示（2-71ページ）することができます。
また、ハンドコピーに記録しているデータを表示（2-51ページ）することができます。
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

表示したデータを操作する

（例）下記のように原稿を表示します。（メモリー受信データが複数ページのデータを表示させたときは、最初は1ページ目を表示します。）

メモリー受信またはハンドコピーに記憶しているデータ

現在表示している倍率

現在表示しているページ／総ページ

倍率切替ボタンと回転ボタンは、少し遅れて表示されます。

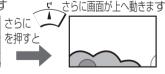
ハンドコピーに記録されているデータを表示しているときは「次データ」となります。

■表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）

のキーを使って動かします。

標準表示のとき

を押すと
画面が下へ動きます
を押すと
画面が上へ動きます

拡大表示のとき

を押すと
画面が下へ動きます
を押すと
画面が上へ動きます
さらにを押すと
さらに画面が上へ動きます
電話帳を押すと
画面が右へ動きます
電話帳を押すと
さらに画面が右へ動きます

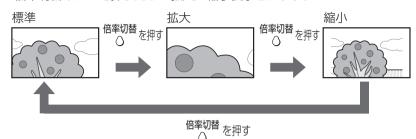
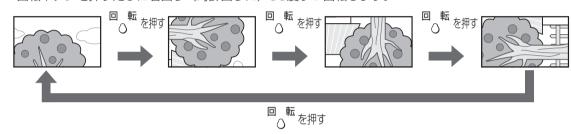
●データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

次ページへ→

お知らせ

● 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。

→つづき

■表示しているデータを拡大／縮小する
倍率切替ボタンを押すたびに拡大／縮小表示されます。

■表示しているデータを回転する
回転ボタンを押すたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。

■ページを変える
複数ページをメモリー受信しているデータのときは、次ページボタンを押すたびに次のページを表示します。

●最後のページを表示しているときに次ページボタンを押すと1ページ目に戻ります。

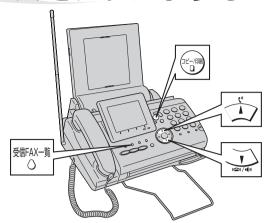
■表示しているデータをプリントする
表示中に（コピー/印刷）を押す
表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）

■表示しているデータを消去する
表示中に（キャッチ／消去）を2回押す
※複数ページのメモリー受信データを消去するときは、表示していたページのデータのみが消えます。

■ メモリー受信したデータを1件ずつ消去するときは
（2-76ページ）

お知らせ
- 拡大／縮小表示中にコピー/印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを越えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。
「見てからプリント」（3-52ページ）を「見てからプリント」に設定しているときは、このページの操作でプリントしてください。
「見てからプリント」を「受信しながらプリント」に設定しているときは、受信しながらプリントされます。受信データは本機に残っていますので、このページの操作で再度プリントすることもできます。

メモリー受信したデータを１件すべてプリントする

1 受信FAX一覧 を押す

9/20 11:30am	3枚	0312345678	未	
9/18 10:00am	1枚	三浦 サオリ	未	
9/17 3:00pm	1枚	0387654321	未	

[決定] で表示, [コピ -] で印刷,
受信情報　記録紙　戻る

●FAX受信リストが表示されます。（2-71ページ）
● 7件目以降は▲または▼でカーソルを移動して表示させます。

2 ▲または▼でプリントしたい受信データを選んだあと、コピー/印刷 を押す

●プリントを開始します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

■ メモリー受信したデータを１ページずつプリントするときは

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）
② ▲ または ▼ でプリントしたい受信データを選んだあと、FAXスタート/決定ボタンを押す（選んだ受信データの１ページ目を表示します。）
③ 次ページボタンを押してプリントしたいページを表示させる
④ コピー/印刷ボタンを押す（表示していたページをプリントします。）

■ 受信情報を確認したいときは

受信FAX一覧ボタンを押したあと、受信情報ボタンを押す（受信データの件数、未確認データの件数、メモリー残量（%）が表示されます。）

お知らせ

● 記録紙やインクがなくなってプリントできないときは、「メモリー受信があります」と表示され、メモリーに受信したデータが保存されています。このときも、上記の操作でプリントしてください。

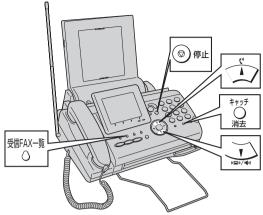
メモリー受信したデータを自動プリントする（「見てからプリント」を「受信しながらプリント」に設定時）

あらかじめ記録紙やインクカートリッジをセットしておきます。

1 メモリー受信すると自動的にプリントが始まる

●プリント後も、受信データは本機に残っていますので、再度プリントすることができます。（2-74ページ）

メモリー受信したファクスを消去する

メモリー受信した内容をメモリー受信リストから選んで消去します。

メモリー受信したデータを１件すべて消去する

1 受信FAX一覧 **を押す**

9/20 11:30am 3枚 0312345678 済
9/18 10:00am 1枚 三浦 サオリ 済
9/17 3:00pm 1枚 0387654321 済
[決定] で表示，[コピー] で印刷，
受信情報 記録紙 戻る

2 ▲ または ▼ で **消去したい受信データを選んだあと、** キャッチ/消去 **を押す**

もう１度押すと消去します
記録紙 戻る

3 もう一度 キャッチ/消去 **を押す**

消去しました

4 停止 **を押す**

途中でやめるとき

戻るボタンを押す

- FAX受信リストが表示されます。（2-71ページ）
- 7件目以降は ▲ または ▼ でカーソルを移動して表示させます。
- 選んだ受信データが消去されます。
- 他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■メモリー受信したデータを１ページずつ消去するときは

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）
② ▲ または ▼ で消去したい受信データを選んだあと、FAXスタート/決定ボタンを押す（選んだ受信データの１ページ目を表示します。）
③ 次ページボタンを押して消去したいページを表示させる
④ キャッチ/消去 を２回押す（表示していたページを消去します。）
⑤ 停止ボタンを押す（他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。）

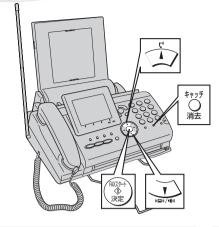
■ 受信情報を確認したいときは

受信FAX一覧ボタンを押したあと、受信情報ボタンを押す（受信データの件数、未確認データの件数、メモリー残量（%）が表示されます。）

メモリーに保存されている受信データを消去する

メモリーに保存されている受信データを消去する操作です。
メモリーに保存できる受信データは50件までです。不要な受信データは消去してください。
（ただし、受信データによっては保存件数が49件以下になることがあります。）

確認済みの受信データを消去する

1 キャッチ/消去 **を押す**

一般録音 全消去
着信記録 全消去
受信FAX 全消去
確認済受信FAX 全消去
お断り番号 全消去
で選択，[決定] で決定
戻る

途中でやめるとき
戻るボタンを押す

2 ▲ **または** ▼ **で「確認済受信FAX 全消去」を選び** FAXスタート/決定 **を2回押す**

消去しました

●ディスプレイで内容を確認済み、またはプリント済みの受信データが消えます。

すべての受信データを消去する

1 キャッチ/消去 **を押す**

一般録音 全消去
着信記録 全消去
受信FAX 全消去
確認済受信FAX 全消去
お断り番号 全消去
で選択，[決定] で決定
戻る

途中でやめるとき
戻るボタンを押す

2 ▲ **または** ▼ **で「受信FAX 全消去」を選び** FAXスタート/決定 **を2回押す**

消去しました

●すべての受信データが消えます。

■ **受信データを1件ずつ消去するときは****（2-76ページ）**

留守番電話として使う（留守モード）

留守モードに設定すると、留守中にかかってきた相手の方からのメッセージを録音したり、ファクスを受けたりすることができます。

留守番電話として使う

相手側	こちら側
電話をかけている （電話をかけたあとファクスを送ろうとしている） プルル(1回目) ・ ・ プルル(４回目)	**呼出音が鳴る** プルル(1回目) ・ ・ プルル(４回目)
固定応答メッセージが流れる 「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。」 応答メッセージの内容は変わります。（2-79ページ表参照）	**固定応答メッセージが流れる** （自分で応答メッセージを作ることもできます。）（2-85～2-86ページ） **呼出音が鳴っている間や応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。**
録音するメッセージを話す もしもし・・・	**録音が始まる** 相手の方の声がスピーカーから聞こえます。（お声拝聴） **この間に受話器を取ると通話できます。**
相手の方がスタートボタンを押す 	**自動的にファクスを受ける**

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（受信メモリーがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（3-47ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

自動的にファクス受信に切り替わります。

■ 応答メッセージを変えるときは（2-86ページ）

■ 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）

① 登録/機能ボタンを押す

② ▲または▼で「音関連機能」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

③ ▲または▼で「親機呼出音」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

④ ▲または▼で「留守時コール回数」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

⑤ ▲または▼で「回数選択」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

⑥ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回〜25回）

⑦ FAXスタート/決定ボタンを押す

⑧ 停止ボタンを押す

■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

① 登録/機能ボタンを押す

② ▲または▼で「音関連機能」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

③ ▲または▼で「親機呼出音」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

④ ▲または▼で「留守時コール回数」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

⑤ ▲または▼で「トールセーバー」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

⑥ 停止ボタンを押す

■ トールセーバーとは（3-48ページ）

■ 応答メッセージが流れ終わってから「ピーッ」音が流れるまでの時間を変更するには（6-6ページ）

お知らせ

● 増設電話機をお使いのとき、応答メッセージが流れているときや録音が始まってから増設電話機の受話器を上げても通話できません。

● 受信メモリーがないときは、ファクスを受けることができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。

外出前に留守に設定する

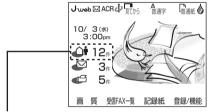
電話がかかってきたら相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき約3分間、録音できます。すべての録音を合わせて、最大約14分間、30件までです。

留守に設定する

1 留守ボタンを押して点灯させる

留守 消 灯 ➡ 留守 点 灯

固定応答メッセージ

●留守ボタンが点灯し、応答メッセージが流れます。
●録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

留守設定中に録音された件数が表示されます。
留守設定を解除してもう１度留守設定にすると、「０件」に戻り、設定後新しく録音された件数を表示します。
留守設定を解除すると、録音されているすべての件数を表示します。

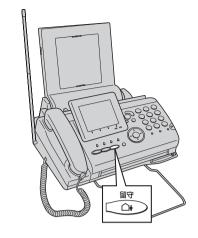
■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を選ぶときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する（2-85〜2-86ページ）
② 留守ボタンを押して点灯させる

お知らせ

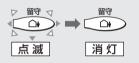
● オリジナルメッセージを選んだときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。
● 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（2-84ページ）
● 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「メモリー受信があります」という表示になります。「メモリー受信があります」と表示しているときは、内容を確認してください。（2-71ページ）

帰宅したあと録音を聞く

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

留守設定を解除して留守録を聞く

1 留守 を押す

留守設定中に録音があると点滅しています。

留守設定　留守設定解除

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません

再生を途中でやめるとき

停止ボタンを押す

●留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。

10月 3日　3:00 PM
内容:用件　　再生:未
5件目 再生中

●再生中は2-82ページと同じ操作で早聞き、遅聞き、次の録音にとばす、1つ前の録音に戻すができます。

●録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。（日時スタンプ）

●留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（2-82ページ）

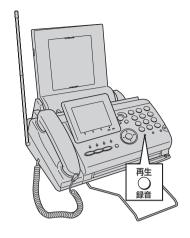
■ 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守に設定中に**1回**点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとで、**2回**点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音）があります。
  再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。（2-82～2-83ページ）

- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音内容を再生する」（2-82～2-83ページ）の操作をします。

録音されている件数が表示されます。（再生後も件数は変わりません。）

録音内容を再生する

親機に録音されている一般録音（※）を再生するときの操作です。
一番古い録音から順番に再生します。
※一般録音とは、留守中に録音されたメッセージ、通話録音、メモ録音のことです。ご自分で録音された応答メッセージは含みません。

親機で録音内容を再生する

1 再生/録音 **を押す**

10月 3日　3:00 PM
内容:用件　　再生:未
5件目 再生中

再生を途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、#（▶▶）を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、再生/録音 を押す（速い）
↓
もう一度、再生/録音 を押す（遅い）
↓
もう一度、再生/録音 を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、＊（トーン/⏮）を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、＊（トーン/⏮） を2回続けて押す
今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、さらにくり返して ＊（トーン/⏮） を押します。

3秒以上再生したあと、ボタンを2回続けて押すと（5件目）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ＊（トーン/⏮） をくり返し押してディスプレイで件数を確認する
1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**
再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **を 2 回押す**

5：戻し
6：送り
9：早聞き

再生を途中でやめるとき

切ボタンを押す

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約 3 秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は 1 件目から再生）

留守設定していないとき

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は 1 件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、6 を押す

早聞きするときは

再生中に、9 を押す

もとに戻すときは、もう一度、9 を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、5 を押す

1 つ前の録音に戻すときは

再生中に、5 を 2 回続けて押す

今聞いている録音の 1 件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して押します。

3 秒以上再生したあと、ボタンを 2 回続けて押すと

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに 5 をくり返し押す。

1 つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

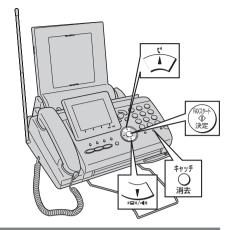
呼出音が聞こえ再生が止まります。このあと通話ボタンを押すと通話できます。

お知らせ

● 一度聞いた不要な用件は消去してください。消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。

● 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。

録音内容を消去する

一般録音（※）を消去します。
※一般録音とは、留守中に録音されたメッセージ、通話録音、メモ録音のことです。ご自分で録音された応答メッセージは含みません。

録音を1つだけ消す

1 消したい録音を再生中に キャッチ/消去 **を2回押す**

1件目 消去しました

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

一般録音をすべて消す

受話器を置いたまま操作します。

1 キャッチ/消去 **を押す**

一般録音 全消去
着信記録 全消去
受信FAX 全消去
確認済受信FAX 全消去
お断り番号 全消去
で選択，[決定] で決定
戻る

2 ▲ **または** ▼ **で「一般録音 全消去」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

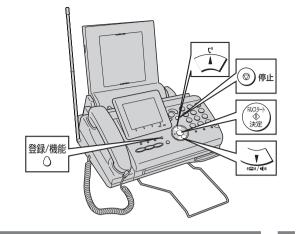
3 FAXスタート/決定 **を押す**

消去しました

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます。また、録音できる時間は他の録音と合わせて最大約14分です。

応答メッセージを録音する

1 登録/機能 を押す

2 ▲ または ▼ で「音関連機能」を選び、FAXスタート/決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「オリジナル応答」を選び、FAXスタート/決定 を押す

オリジナル応答
1 録音
2 消去
3 再生
で選択，［決定］で決定
記録紙　戻る

4 ▲ または ▼ で「録音」を選び、FAXスタート/決定 を押す

5 受話器を取る

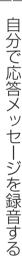
6 FAXスタート/決定 を押してから、受話器で応答メッセージを話す

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

次ページへ→

→つづき

7 録音が終わったら
停止 を押してから、受話器を戻す

●録音したメッセージを再生します。

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**

①「応答メッセージを録音する」の手順1～3の操作をする。

②▲または▼で「再生」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す。

（再生が終わったら、待機画面に戻ります。）

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージを消すときは**

①「応答メッセージを録音する」の手順1～3の操作をする。

②▲または▼で「消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す。

応答メッセージを消去したときは、自動的に固定応答メッセージになります。

お知らせ

- 応答メッセージを録音すると、固定応答メッセージは選べなくなります。
  固定応答メッセージに戻したいときは、録音した応答メッセージを消してください。
- 応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。記録紙をセットして受信内容をプリントするか、用件を消去してください。